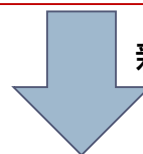


- 限られた資源や漁場を効率的に利用するとともに、漁業経営体の経営を安定させるため、複数の漁業種類等を組み合わせて営むなど、漁業経営にはこれまで以上の工夫が必要。
- これまでは、①経営体が営んだすべての漁業種類、②そのうち販売金額が1・2位の漁業種類、③個人経営体の世帯員の海上作業日数が最も多い漁業種類、④動力漁船の販売金額が最も多い漁業種類を把握。



新たな取組

調査票の設定イメージ

- ② 個人経営体及び団体経営体について、販売金額が多い順に1位～3位までの漁業種類を把握。
また、販売金額が多い順に1位～3位までの魚種を把握。
- ③ 個人経営体の世帯員及び団体経営体の一定の者について、海上作業日数が多い順に1位～3位までの漁業種類を把握。
- ④ 個人経営体及び団体経営体の動力漁船ごとに、販売金額が多い順に1位～3位までの漁業種類を把握。
また、出漁日数についても多い順に1位～3位までの漁業種類を把握。

課題

- 項目の重複感や記入者負担が増加する。
- 作成する統計表が多次元化し、複雑化する。

漁業種類・魚種の把握の充実

	2013年漁業センサス	2018年漁業センサス（案）
漁業経営体	【個人経営体】 ・ 営んだすべての漁業種類 ・ 販売金額が1・2位の漁業種類 ・ — 【団体経営体】 ・ 営んだすべての漁業種類 ・ 販売金額が1・2位の漁業種類 ・ —	【個人経営体】 ・ 営んだすべての漁業種類 ・ 販売金額が<u>1位～3位</u>の漁業種類 ・ <u>販売金額の1位～3位の魚種</u> 【団体経営体】 ・ 営んだすべての漁業種類 ・ 販売金額が<u>1位～3位</u>の漁業種類 ・ <u>販売金額の1位～3位の魚種</u>
・ 漁業従事世帯員 ・ 一定の者	【個人経営体】 ・ 世帯員ごとに海上作業日数が最も多い漁業種類 【団体経営体】 ・ —	【個人経営体】 ・ 世帯員ごとに海上作業日数が<u>1位～3位</u>の漁業種類 【団体経営体】 ・ <u>一定の者の海上作業日数が1位～3位の漁業種類</u>
動力漁船	【個人経営体】 ・ 船ごとに販売金額1位の漁業種類 ・ — 【団体経営体】 ・ 船ごとに販売金額1位の漁業種類 ・ —	【個人経営体】 ・ 船ごとに販売金額が<u>1位～3位</u>の漁業種類 ・ <u>船ごとに出漁日数が1位～3位の漁業種類</u> 【団体経営体】 ・ 船ごとに販売金額が<u>1位～3位</u>の漁業種類 ・ <u>船ごとに出漁日数が1位～3位の漁業種類</u>